

medicina 第30巻 総目次

1993年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(11号は増刊号につき不掲載.)

〔今月の主題〕

出血傾向の臨床

〈Introduction〉

- 凝固系の働き ……小山高敏・他…6(1)
血小板機能の理解 ……瀧本泰生・他…10(1)
線溶系のしくみ ……斎藤英彦…16(1)
出血傾向のある症例へのアプローチ

チ ……吉田信彦…20(1)

出血傾向にはどのような検査を行

うか ……安藤泰彦…26(1)

〈凝固異常による出血傾向〉

- 凝固異常の臨床的とらえ方 ……高松純樹…32(1)
第Ⅷ因子欠乏症(血友病A) ……三上貞昭…36(1)
von Willebrand病 ……藤村吉博・他…39(1)
先天性無フィブリノゲン血症 ……白幡 聡…43(1)
急性前骨髄球性白血病と癌にみら

れる DIC ……定方宏人・他…46(1)

敗血症と DIC ……北原光夫…50(1)

肝疾患と凝固異常 ……金山正明…54(1)

ワーファリン使用と出血 ……佐野雅之・他…57(1)

ヘパリン使用と出血 ……新名主宏一…60(1)

後天性凝固阻止因子 ……渡辺清明…64(1)

全身性線溶 ……中村裕一…67(1)

〈血小板と出血傾向〉

血小板減少症へのアプローチ

……………得平道英・他…72(1)

特発性血小板減少性紫斑病 ……塚田理康…78(1)

血栓性血小板減少性紫斑病 ……服部 晃・他…81(1)

骨髄抑制による血小板減少 ……田所憲治・他…84(1)

薬剤による血小板減少 ……菊池正夫…86(1)

先天性血小板機能異常症 ……間瀬勘史…90(1)

薬剤による血小板機能異常 ……川合陽子…93(1)

血液疾患と血小板機能異常 ……森 啓…96(1)

〈血管異常による出血傾向〉

Allergic purpura ……櫻川信男…100(1)

出血性血管拡張症 ……田口博國…104(1)

〈出血傾向のある患者への実際的対応〉

頭部外傷 ……松元 渉・他…107(1)

口腔外科的治療 ……宇野雅史…110(1)

腹腔内出血 ……門田俊夫…114(1)

観血の手技・手術 ……野村武夫…116(1)

薬剤による出血への対応 ……石川欽司・他…120(1)

内科疾患患者の生活指導

〈循環器疾患〉

心筋梗塞 ……茅野真男・他…188(2)

狭心症 ……長谷弘記・他…194(2)

心不全 ……浦部由利・他…198(2)

不整脈 ……飯沼宏之…204(2)

高血圧・低血圧 ……今鷹耕二…208(2)

心筋症 ……横田慶之・他…210(2)

大動脈瘤 ……三浦俊郎・他…214(2)

ペースメーカー植込み患者

……………船内武司・他…217(2)

〈消化器疾患〉

消化性潰瘍 ……中村俊也・他…222(2)

過敏性腸症候群 ……佐々木大輔・他…224(2)

炎症性腸疾患 ……神長憲宏・他…228(2)

慢性肝炎 ……永田博司…230(2)

肝硬変 ……渡辺明治…234(2)

胆石症 ……富田慎二・他…236(2)

慢性膵炎 ……杉山恵一・他…238(2)

〈呼吸器疾患〉

慢性閉塞性肺疾患 ……宮城征四郎…242(2)

気管支喘息 ……金子富志人・他…245(2)

慢性呼吸不全 ……工藤翔二…248(2)

〈神経疾患〉

痴 呆 ……森松光紀…252(2)

脳卒中後遺症 ……山永裕明・他…256(2)

パーキンソン病 ……葛原茂樹…262(2)

〈腎疾患〉

慢性腎不全一血液透析 ……曾根正好・他…266(2)

慢性腎不全—腹膜透析	……若林良則・他	270(2)
慢性腎不全—非血液浄化療法	……安田卓二・他	272(2)
ネフローゼ症候群	……和泉雅章・他	276(2)
〈内分泌・代謝疾患〉		
甲状腺疾患	……森田三雄・他	280(2)
高脂血症	……佐藤祐造・他	282(2)
肥満	……鈴木裕也	285(2)
糖尿病	……渥美義仁	288(2)
痛風	……西村隆通・他	292(2)
骨粗鬆症	……小玉嘉昭・他	296(2)
〈血液疾患〉		
鉄欠乏性貧血	……田口博國	300(2)
血友病	……稲垣 稔	303(2)
〈感染症〉		
感染症	……北原光夫	306(2)
AIDS	……根岸昌功	309(2)
〈免疫・アレルギー疾患〉		
Immunocompromised host	……舟田 久・他	312(2)
花粉症	……高木一平	314(2)
〈結合組織病〉		
慢性関節リウマチ	……塚本芳久・他	318(2)
全身性エリテマトーデス	……隅谷護人	322(2)
〈精神神経疾患〉		
不安神経症	……中野弘一・他	324(2)
うつ病	……宮岡 等	326(2)
アルコール依存症	……重田洋介	329(2)
〈癌〉		
担癌患者	……重光希公生・他	332(2)
ウイルス肝炎 ABC		
〈EDITORIAL〉		
ウイルス肝炎の現状と問題点	……矢野右人	400(3)
〈肝炎ウイルス遺伝子解析〉		
ウイルス遺伝子理解のために	……高見沢昭久・他	402(3)
水系感染としての肝炎ウイルス—		
HAV と HEV	……内田俊和	406(3)
B型肝炎ウイルス	……小池和彦	408(3)
C型肝炎ウイルス	……溝上雅史・他	411(3)
〈ウイルス肝炎マーカーの検査と臨床的意義〉		
A型肝炎ウイルスマーカー	……佐田通夫・他	416(3)
B型肝炎ウイルスマーカー	……宮崎吉規・他	419(3)

HCV 抗体測定系の開発—第一世代と第二世代	田中栄司	422 (3)	
PCR 法による HCV-RNA の測定	金子周一・他	426 (3)	
DNA プローブ法による HCV-RNA の検出	矢野右人・他	429 (3)	
肝生検法と肝組織所見の分類	山田剛太郎	432 (3)	
ウイルス肝炎進展度と超音波検査	坂口正剛・他	436 (3)	
〈ウイルス肝炎の臨床〉			
ウイルス肝炎 ABCDE の疫学	石川和克・他	442 (3)	
ウイルス肝炎の感染経路—水平感染	堺 隆弘・他	445 (3)	
B型肝炎の感染経路—母子感染	多田 裕	449 (3)	
A型肝炎の臨床所見と経過	井上長三・他	452 (3)	
B型急性肝炎の臨床所見と経過	林 直諒	454 (3)	
輸血後C型肝炎よりみた HCV 感染の経過	古賀満明・他	458 (3)	
散发性C型急性肝炎の実態と臨床	加藤道夫・他	463 (3)	
劇症肝炎の臨床と肝炎ウイルス	坪内博仁・他	466 (3)	
B型慢性肝炎の臨床と経過	大西三朗・他	470 (3)	
C型慢性肝炎の臨床と経過	清澤研道	474 (3)	
自己免疫性肝炎と肝炎ウイルス	福田善弘・他	478 (3)	
肝炎ウイルス以外の既知ウイルス	感染症に伴った肝障害	井本 勉・他	482 (3)
D型肝炎の診断と臨床所見	岩波栄逸・他	486 (3)	
肝硬変・肝癌と肝炎ウイルス	鶴浦雅志・他	490 (3)	
〈ウイルス肝炎の治療と予防〉			
急性肝炎の治療	松嶋 喬	494 (3)	
劇症肝炎の治療	与芝 真	497 (3)	
慢性肝炎の一般療法	黒木哲夫	500 (3)	
B型肝炎の抗ウイルス療法—適応と限界	荒瀬康司・他	505 (3)	
C型肝炎のインターフェロン療法—適応と限界	日野邦彦・他	509 (3)	

ウイルス肝炎のケア ……藤山重俊・他…514(3)	……………外山圭介…632(4)
院内感染とその対策 ……小坂義種・他…518(3)	白血病患者への告知 ……武藤良知…636(4)
肝炎ウイルス感染の実態と予防 ……………八橋 弘・他…522(3)	〈治療の実際：薬物療法〉
〈座談会〉	急性白血病の寛解導入と寛解期治 療の必要性 ……竹内 仁…640(4)
C型肝炎インターフェロン治療の 現況と展望 ……原田英治・林 紀夫 清澤研道・矢野右人…526(3)	成人難治性白血病の治療対策 ……………内丸 薫・他…646(4)
白血病一研究と診療の最新情報	高齢者白血病の治療のあり方 ……森真由美…649(4)
〈Editorial〉	小児超ハイリスク急性リンパ性白 血病の化学療法 ……中畑龍俊・他…652(4)
白血病における病態解明の進歩と 臨床への応用 ……浅野茂隆…576(4)	ATRAによる急性前骨髄球性白 血病の分化誘導療法 ……東條有伸…658(4)
〈Introduction〉	慢性骨髄性白血病の新しい治療薬 ーインターフェロン α ……小山 寛…661(4)
白血病と正常幹細胞 ……三浦恭定…578(4)	ヒドロキシカルバミドによる慢性 骨髄性白血病の治療 ……浦部晶夫…666(4)
〈疫学と病因〉	慢性骨髄性白血病急性転化の化学 療法 ……小林幸夫…670(4)
わが国と欧米における白血病の発 生動向の差異 ……三上憲人・他…584(4)	Hairy cell leukemia のインター フェロン療法 ……徳嶺進洋・他…674(4)
抗癌剤投与や放射線被曝による白 血病の発生 ……月本一郎・他…589(4)	成人T細胞白血病の最近の治療成 績 ……松崎博充・他…680(4)
ウイルスと白血病ーHTLV-Iに よる成人T細胞白血病の発生機 序をめぐって ……田口博國…592(4)	〈治療の実際：骨髄移植療法〉
〈診断とFAB分類〉	同種骨髄移植療法の最近の進歩と 適応 ……岡本真一郎…686(4)
白血病の診断の進め方 ……吉田弥太郎…596(4)	自己末梢血幹細胞移植療法の現状 と問題点 ……原田実根…690(4)
FAB分類の整理ー免疫学的マー カー, 新しい病型 AML-M0, CLL の分類を中心に ……栗田一孝・他…600(4)	造血幹細胞の採取・保存法 ……池淵研二…693(4)
〈分子病態からみた病型分類〉	骨髄バンクと登録方法 ……加藤俊一…696(4)
染色体転座と癌遺伝子の活性化 ……………鎌田七男・他…604(4)	〈今後の展開〉
慢性骨髄性白血病の急性転化と遺 伝子異常 ……平井久丸…609(4)	臨床治療の科学的評価 ……田野崎隆二・他…700(4)
サイトカインによる白血病細胞の 増殖 ……小澤敬也…612(4)	免疫療法とサイトカイン療法 ……幸道秀樹…704(4)
白血病細胞における薬剤耐性遺伝 子の発現 ……濱田洋文…615(4)	細胞移植と遺伝子治療 ……谷憲三郎…708(4)
顆粒リンパ球増多症と単クローン 性増殖 ……押味和夫…618(4)	〈座談会〉
サイクリンとB細胞型悪性腫瘍 ……………本倉 徹…620(4)	白血病の治療はどうあるべきか？ ……………大野竜三・小寺良尚 元吉和夫・浅野茂隆…712(4)
残存白血病細胞の診断 ……松岡 明・他…624(4)	症例にみる血液浄化療法の進歩
〈治療の哲学〉	〈Editorial〉
急性白血病治療の基本的な考え方 ……………小峰光博…628(4)	治療学における血液浄化療法の役 割 ……川口良人…788(5)
慢性白血病治療の基本的な考え方	〈血液浄化療法の基礎〉
	血液浄化療法の歴史と現在の問題 点 ……太田和夫…792(5)
	血液浄化機材の進歩 ……峰島三千男…798(5)

血液浄化における生体適合性と不 適合性 ……………小岩文彦・他…804(5)	心不全とは何か ……………飯塚昌彦…999(6)
〈病態と血液浄化療法〉	〈大規模スタディは何を教えたか〉
電解質是正のための血液浄化療法 ……………飯田喜俊…810(5)	PROMISE ……………伊東春樹・他…1004(6)
循環器疾患と血液浄化療法 ……………稲永 隆・他…818(5)	CONSENSUS ……………諸岡成徳…1008(6)
腎不全以外の腎疾患と血液浄化療 法 ……………石津 隆・他…822(5)	SOLVD ……………白土邦男…1012(6)
腎不全(急性・慢性)における血液 浄化療法	V-HeFT I, II ……………芹澤 剛…1014(6)
—体外循環 ……………青池郁夫・他…828(5)	ザモテロール……………堀 正二・他…1016(6)
—腹膜透析 ……………藤井正満・他…834(5)	心不全とCa ²⁺ 拮抗薬 ……垣花昌明・他…1020(6)
慢性腎不全における血液浄化療法	CAST ……………飯沼宏之…1022(6)
—経口吸着剤 ……………小出桂三…842(5)	〈心不全治療の最前線〉
血液疾患と血液浄化療法 ……菊池正夫・他…848(5)	心不全治療の基本的ストラテジー
肝不全、胆・脾疾患における血液 浄化療法 ……………天野 泉…854(5)	……………村上知行・他…1026(6)
膠原病と血液浄化療法 ……有村義宏・他…860(5)	利尿薬……………杉本孝一・他…1031(6)
神経・筋疾患に対する血液浄化療 法 ……………松永宗雄・他…866(5)	ジギタリス……………田村 勤…1034(6)
多臓器不全(MOF)と血液浄化療 法 ……………平澤博之・他…872(5)	血管拡張薬……………上田慶二・他…1036(6)
脂質代謝異常と血液浄化療法 ……………酒井聡一・他…878(5)	カテコールアミン……………小松栄一・他…1040(6)
臓器移植における血液浄化法—	ホスホジエステラーゼ阻害薬 ……………市川 隆・他…1044(6)
ABO血液型不適合腎移植 ……高橋公太…884(5)	Ca ²⁺ sensitizer ……………遠藤政夫…1047(6)
急性薬物中毒の血液浄化療法 ……………田部井薫・他…890(5)	β遮断薬……………川合宏哉・他…1050(6)
内分泌疾患と血液浄化療法 ……………阪口勝彦・他…896(5)	心筋代謝改善薬……………山崎 昇…1053(6)
皮膚疾患と血液浄化療法 ……山田裕道・他…902(5)	心房利尿ペプチドとその分解阻害 薬……………松岡博昭…1056(6)
透析アミロイド以外のアミロイド	機械的補助循環法……………許 俊鋭・他…1058(6)
—シスと血液浄化療法 ……………磯部 敬…908(5)	心臓移植……………小塚 裕・他…1060(6)
熱傷と血液浄化療法 ……………若林靖久…916(5)	急性心不全の治療……………酒谷秀雄・他…1063(6)
産科疾患と血液浄化療法 ……中林正雄・他…922(5)	〈心不全の病態生理と新しい評価法〉
がん治療における血液浄化療法 ……………峠 哲哉…926(5)	心不全の病態生理—最近の進歩
〈座談会〉	……………百村伸一…1066(6)
血液浄化療法の応用と今後の展開 ……………秋澤忠男・飯野靖彦 平澤博之・川口良人…931(5)	心不全の重症度評価……………麻野井英次…1069(6)
心不全診療の新たな展開	心不全時の骨格筋……………西島宏隆・他…1072(6)
〈INTRODUCTION〉	心不全時の呼吸機能……………谷口興一…1074(6)
心不全治療の新たな展開 ……芹澤 剛…996(6)	心不全とカテコールアミン……………大鈴文孝…1078(6)
	心不全時の自律神経機能……………佐藤 廣…1081(6)
	心不全患者における運動負荷試験 の意義……………山辺 裕・他…1084(6)
	心機能の非侵襲的検査法の進歩 ……………羽田勝征…1089(6)
	心不全と不整脈……………岡田 豊・他…1092(6)
	虚血による心不全とその病態 ……………清野精彦・他…1095(6)
	〈心不全に対する基礎的研究の進歩〉
	心不全への分子・細胞生物学的ア プローチと臨床への応用……………高橋利之…1102(6)
	不全心筋の収縮装置……………杉浦清了・他…1106(6)

不全心筋のカルシウムハンドリン グ……………石出信正…1108(6)	新しいマクロライド剤の使い方 ……………木村雅司・他…1257(7)
不全心筋のエネルギー代謝 ……………柳下俊邦・他…1110(6)	ST 合剤の使い方 ……廣田正毅…1260(7)
不全心筋における細胞内情報伝達 系……………川口秀明…1114(6)	アムホテリシンBとフルコナゾー ルの選択……………舟田 久…1263(7)
ナトリウム利尿ペプチド(ANP, BNP)の臨床的意義 ……小川佳宏・他…1118(6)	バンコマイシンの使い方……………味澤 篤…1266(7)
心不全と血管作動物質……………平田結喜緒…1122(6)	抗ウイルス剤の使い方—アシクロ ビルの正しい使い方……………西條政幸・他…1268(7)
心不全の原因となる遺伝的疾患 ……………田中弘允・他…1126(6)	〈抗生物質のエンピリック・セラピー〉 抗生物質の正しいエンピリック・ セラピー……………北原光夫…1272(7)
心筋炎の分子的機構……………松森 昭…1130(6)	敗血症を疑わせる症例へのエンピ リック・セラピー……………西谷 肇…1274(7)
抗生物質の使い方 1993	市中感染肺炎例へのエンピリック ク・セラピー……………永武 毅…1278(7)
〈抗生物質の選択と投与の基本〉 抗生物質投与前に行うべきこと ……………稲松孝思…1192(7)	院内感染肺炎例へのエンピリック ク・セラピー……………下方 薫…1284(7)
抗生物質の変更と中止の目安 ……………喜舎場朝和…1198(7)	尿路感染症へのエンピリック・セ ラピー……………上間健造・他…1286(7)
発熱へどう対応するか……………比嘉 太…1200(7)	感染性心内膜炎へのエンピリック ク・セラピー……………渡辺健太郎…1290(7)
培養検体の採取方法と同定結果の 読み方……………熊坂一成…1202(7)	細菌性髄膜炎へのエンピリック・ セラピー……………北川泰久…1292(7)
感受性検査の判断……………菅野治重…1206(7)	高齢者感染症へのエンピリック・ セラピー……………深山牧子…1296(7)
ナロースペクトラム抗生物質選択 の臨床状況……………和田光一・他…1210(7)	〈抗生物質投与中に起こる問題とその対応〉 免疫機能正常例にみられる発熱 ……………伊良部勇栄・他…1300(7)
ブロードスペクトラム抗生物質選 択の臨床状況……………蝶名林直彦・他…1214(7)	好中球減少時における発熱…大本英次郎…1302(7)
単剤療法の理由と利点……………高橋 洋・他…1218(7)	抗生物質投与中に出現した下痢 ……………木岡清英・他…1305(7)
併用療法の必要な感染症……………深谷一太…1222(7)	抗生物質と腎機能……………鈴木幹三・他…1308(7)
内科的予防的投与方法……………青木泰子…1224(7)	MRSA 感染症への対応 ……林 泉・他…1311(7)
外科的予防的投与方法……………北原光夫…1226(7)	〈必要かつ十分な抗生物質〉 オフィス・プラクティスと必要な 抗生物質……………吉原幸治郎・他…1315(7)
〈抗生物質の特徴と正しい使い方〉 ペニシリン系の使い方……………澤江義郎…1230(7)	MRSA 感染を起こさないための 抗生物質の使い方……………小林芳夫…1318(7)
第1世代セフェム系の使い方 ……………川島 崇・他…1234(7)	糖尿病 1993
第2世代セフェム系の使い方 ……………三笠桂一・他…1236(7)	〈Editorial〉
第3世代セフェム系の使い方 ……………泉川欣一…1240(7)	治療により糖尿病の合併症はどこ まで予防できるか……………豊田隆謙…1390(8)
イミベネムの特徴と使い方 ……………相澤信行・他…1244(7)	〈糖尿病人口の現状と予後〉 IDDM の頻度と予後 ……田嶋尚子・他…1392(8)
モノバクタムの使い方……………市川洋一郎…1248(7)	NIDDM の頻度と予後……………関川 暁・他…1396(8)
アミノ配糖体抗生物質の使い方 ……………増田剛太…1250(7)	
ニューキノロン剤の有用性と限界 ……………苅部ひとみ・他…1252(7)	

境界型糖尿病の頻度と取り扱い方	佐中真由実・他	1486(8)
.....伊藤千賀子		1398(8)
高齢者糖尿病の頻度と予後	井藤英喜	1402(8)
〈糖尿病の病態と成因〉		
IDDM の病態と成因	花房俊昭	1405(8)
NIDDM の病態と成因	春日雅人	1409(8)
Slowly progressive IDDM の病態と成因	小林哲郎	1412(8)
二次性糖尿病の病態と成因	安田圭吾・他	1416(8)
.....		
〈糖尿病のコントロールに必要な検査法とその進め方〉		
血糖検査とその読み方	羽倉稜子	1420(8)
尿糖検査の活用法と限界	清野弘明・他	1424(8)
血糖日内変動測定と目標基準値	小沼富男・他	1428(8)
.....		
血糖自己測定法の進歩と実際の活用	鈴木吉彦	1431(8)
HbA _{1c} (HbA ₁), フルクトサミンの原理とコントロール目標値	古田浩人・他	1434(9)
.....		
1,5 AG の診断と治療への応用	山内俊一	1438(8)
.....		
血中インスリンと血中および尿中C-ペプチドの診断と治療への応用	岩本安彦	1441(8)
血中ケトン体のコントロール目標値	堀田 饒・他	1445(8)
糖尿病治療に影響する糖尿病薬以外の薬剤	河津捷二・他	1449(8)
〈糖尿病治療の現状と問題点〉		
治療の原則と継続の重要性	菊池方利	1455(8)
食事療法の原則と食品交換表の使い方	池田正毅	1458(8)
糖尿病性腎症の食事療法	土井邦紘	1463(8)
運動療法をどの程度行えばよい	阿部隆三	1467(8)
.....		
経口血糖降下剤の使い方と限界	奥屋 茂・他	1471(8)
.....		
強化インスリン療法の種類と注意点	七里元亮・他	1474(8)
NIDDM のインスリン療法	河盛隆造	1480(8)
高齢糖尿病患者の治療をどこまでやるか	服部明德・他	1483(8)
妊娠・分娩・手術時の血糖コントロールの実際的なやり方		
.....佐中真由実・他		1486(8)
〈糖尿病性合併症への対策〉		
糖尿病網膜症	堀 貞夫	1490(8)
糖尿病性腎症	羽田勝計	1492(8)
糖尿病性神経障害	圓谷建治・他	1496(8)
糖尿病と高血圧	武田仁勇・他	1498(8)
糖尿病と高脂血症	山田信博	1501(8)
糖尿病と脳梗塞の因果関係とその対策	伏見尚子・他	1504(8)
糖尿病と心疾患	柏木厚典	1508(8)
糖尿病性壊疽	新城孝道	1512(8)
糖尿病と凝固線溶系の異常	森下英理子・他	1516(8)
.....		
糖尿病と歯の病気	永山正明・他	1518(8)
〈糖尿病の指導の現状と問題点〉		
糖尿病教室の在り方—入院・外来を含めて—	渥美義仁	1522(8)
小児糖尿病サマーキャンプの現状と今日の問題点	武田 倬・他	1525(8)
〈トピックス〉		
IDDM, NIDDM は予防しうるか	佐藤 譲・他	1529(8)
.....		
糖輸送担体と NIDDM	井上雅寛・他	1532(8)
インスリン受容体異常症	門脇弘子・他	1535(8)
.....		
シンドローム X と内臓脂肪症候群	徳永勝人・他	1538(8)
新しい経口血糖降下剤の開発状況と展望	南條輝志男・他	1540(8)
脾移植の現状と将来展望	井上一知	1543(8)
消化性潰瘍治療の新展開		
〈EDITORIAL〉		
消化性潰瘍治療の現状と展望	西元寺克禮	1596(9)
.....		
〈成因〉		
自律神経と消化性潰瘍	松尾 裕	1598(9)
消化管ホルモンと消化性潰瘍	岸本真也	1604(9)
壁細胞内情報伝達機構	菅野健太郎	1610(9)
胃粘膜防御機構	寺野 彰・他	1616(9)
〈病態生理〉		
消化性潰瘍の病態生理	井上正規	1620(9)
〈薬物療法〉		
薬物療法をどう進めるか	西元寺克禮	1628(9)
制酸剤・抗コリン剤の評価と使い方	早川 滉	1632(9)

選択的抗ムスカリン剤の評価と使い方	石森 章…1636(9)
H ₂ 受容体拮抗剤の評価と使い方	岩崎有良…1640(9)
プロトンポンプ阻害剤の適応	浅木 茂…1644(9)
プロトンポンプ阻害剤の使い方	福本四郎・他…1648(9)
プロトンポンプ阻害剤使用上の注意	矢花 剛・他…1650(9)
防御因子増強剤の評価と使い方	森賀本幸…1654(9)
プロスタグランジン製剤の評価と使い方	荒川哲男・他…1658(9)
抗潰瘍剤の予防的投与	高橋 裕・他…1662(9)
〈特殊な潰瘍の治療〉	
小児潰瘍の実態と治療	原田一道・他…1669(9)
高齢者潰瘍の治療	大島 博…1672(9)
NSAIDs 併用例の治療	安達 献・他…1676(9)
難治性胃潰瘍の治療	大井田正人・他…1679(9)
難治性十二指腸潰瘍の治療	金子栄藏…1682(9)
〈治癒判定〉	
X 線写真による治癒判定	洲上忠彦…1686(9)
内視鏡による治癒判定	芳野純治・他…1691(9)
〈再発と維持療法〉	
維持療法はなぜ必要か	中村孝司…1698(9)
胃潰瘍の長期予後	小越和栄…1704(9)
胃潰瘍の維持療法	塚本純久…1708(9)
十二指腸潰瘍の長期予後	児玉 正…1710(9)
十二指腸潰瘍の維持療法	原澤 茂・他…1712(9)
吻合部潰瘍の治療	塚本秀人・他…1716(9)
〈治癒・再発に関する諸因子〉	
胃・十二指腸潰瘍の治癒に関係する因子	岡田光男…1720(9)
胃・十二指腸潰瘍の再発に関係する因子	横山善文・他…1724(9)
喫煙、飲酒、食事は難治・再発と関係あるか	川野 淳・他…1728(9)
<i>Helicobacter pylori</i> は難治・再発と関係あるか	浅香正博…1732(9)
〈合併症と外科治療の現状〉	
潰瘍合併症は変化したかー内科の立場から	三橋利温・他…1736(9)
潰瘍合併症は変化したかー外科の立場から	青木照明・他…1738(9)

出血性潰瘍治療の現況	平尾雅紀・他…1740(9)
穿孔性潰瘍治療の現況	渡部洋三…1743(9)
外科治療の新しい展開ー腹腔鏡下手術の導入	大上正裕・他…1746(9)
膠原病ー診断へのアプローチと最新の治療法	
〈Editorial〉	
膠原病の概念、範囲と診断、研究の動向	伊藤幸治…1816(11)
〈膠原病理解のための臨床免疫学〉	
膠原病と臨床免疫学との関わり	狩野庄吾…1822(11)
免疫担当細胞	尾崎承一…1825(11)
サイトカイン	熊谷俊一・他…1828(11)
補体と免疫複合体	上床 周…1831(11)
抗核抗体	秋月正史…1834(11)
膠原病の免疫遺伝学	中野啓一郎…1838(11)
膠原病の分子生物学	山本一彦…1840(11)
膠原病とウイルス	西岡久寿樹…1844(11)
〈膠原病の診断法と活動性の評価〉	
膠原病を疑う時	谷本潔昭…1847(11)
膠原病の検査法と結果の解釈	吉野谷定美…1853(11)
慢性関節リウマチ	神宮政男…1858(11)
全身性エリテマトーデス	三森経世…1864(11)
強皮症	高崎芳成…1867(11)
多発性筋炎と皮膚筋炎	山内康平…1870(11)
結節性多発動脈炎	三森明夫…1874(11)
Sjögren 症候群	住田孝之…1878(11)
Overlap 症候群と混合性結合組織病	海瀬俊治・他…1881(11)
Behçet 病	嶋 良仁・他…1884(11)
〈膠原病の治療法とフォローアップ〉	
膠原病の治療薬、治療法にはどのようなものがあるか	粕川禮司…1888(11)
慢性関節リウマチ	井上哲文…1893(11)
全身性エリテマトーデス	宮坂信之…1896(11)
強皮症	三田村忠行…1899(11)
多発性筋炎と皮膚筋炎	原まさ子…1902(11)
結節性多発動脈炎	澤田滋正…1906(11)
Sjögren 症候群	菅井 進…1910(11)
Overlap 症候群と混合性結合組織病	青塚新一…1914(11)
Behçet 病	永瀬裕子・他…1916(11)
〈知っておくべき膠原病関連疾患〉	
Undifferentiated connective	

tissue syndrome (UCTS)	2076 (12)
.....近藤啓文・他	1920 (11)
抗リン脂質抗体症候群	1922 (11)
成人 Still 病	1926 (11)
リウマチ性多発筋痛症	1928 (11)
Shulman 症候群および好酸球増加・筋痛症候群	1932 (11)
ヒト adjuvant 病	1934 (11)
無菌性骨壊死症	1938 (11)
〈全身系統的疾患としての膠原病・鑑別のキーポイント〉	
膠原病の皮膚病変	1940 (11)
膠原病の神経病変	1946 (11)
膠原病の肺病変	1950 (11)
膠原病の腎病変	1954 (11)
膠原病の血管病変	1958 (11)
膠原病の心病変および肺高血圧	1961 (11)
.....国枝武義	1961 (11)
膠原病の消化管病変	1964 (11)
.....粒良邦彦	1964 (11)
〈特殊治療法の適応と問題点〉	
慢性関節リウマチのリハビリテーション	1966 (11)
.....荻田忠厚	1966 (11)
人工関節置換術	1970 (11)
免疫抑制剤	1973 (11)
血液浄化療法	1976 (11)
津田裕士	1976 (11)
閉塞性肺疾患の診断と治療	
〈カラーグラフ〉	
病理形態からみた閉塞性肺疾患	2020 (12)
.....植草利公・他	2020 (12)
〈疾患概念と病因をめぐって〉	
肺気腫症	2029 (12)
.....川上義和・他	2029 (12)
慢性気管支炎	2034 (12)
.....山木戸道郎・他	2034 (12)
びまん性汎細気管支炎	2038 (12)
.....工藤翔二	2038 (12)
気管支喘息	2043 (12)
.....佐藤篤彦・他	2043 (12)
〈周辺疾患〉	
閉塞性気管支・細気管支炎	2047 (12)
.....中田紘一郎	2047 (12)
気管支拡張症	2051 (12)
.....富井啓介	2051 (12)
原発性線毛機能不全症	2054 (12)
.....網谷良一・他	2054 (12)
肺リンパ脈管筋腫症	2058 (12)
.....西村浩一・他	2058 (12)
〈閉塞性肺疾患の病態生理〉	
労作時呼吸困難とその発生機序	2061 (12)
.....保坂公夫・他	2061 (12)
喀痰と気道分泌	2064 (12)
.....王置 淳	2064 (12)
気道クリアランスと線毛機構	2067 (12)
.....川上雅彦	2067 (12)
気道炎症とサイトカイン	2070 (12)
.....滝沢 始	2070 (12)
気道感染の成立と持続	2073 (12)
.....武田博明	2073 (12)
気道閉塞のメカニズム	2076 (12)
.....松井弘稔・他	2076 (12)
閉塞性肺疾患における気道過敏性	2078 (12)
.....井上洋西	2078 (12)
ガス交換障害と呼吸不全	2083 (12)
.....川越丈夫・他	2083 (12)
肺性心と肺循環	2086 (12)
.....吉田康秀・他	2086 (12)
呼吸筋の負荷と疲労	2089 (12)
.....吉村尚高・他	2089 (12)
〈診断のすすめ方〉	
問診による鑑別のポイント	2092 (12)
.....蝶名林直彦・他	2092 (12)
肺聴診と肺音(呼吸音)の特徴	2096 (12)
.....米丸 亮・他	2096 (12)
胸部 X 線写真からわかること	2099 (12)
.....佐藤弘一・他	2099 (12)
CT の有用性と鑑別診断	2104 (12)
.....山岸雅彦	2104 (12)
呼吸機能からの鑑別診断	2112 (12)
.....鈴木俊介・他	2112 (12)
生化学・免疫学的検査からのアプローチ	2116 (12)
.....ローチ	2116 (12)
.....大石展也・他	2116 (12)
血液ガスの評価	2119 (12)
.....岡村 樹	2119 (12)
運動耐容と負荷試験	2122 (12)
.....赤柴恒人・他	2122 (12)
睡眠時呼吸障害と診断	2127 (12)
.....高崎雄司・他	2127 (12)
〈治療の進歩〉	
慢性閉塞性肺疾患治療のストラテジー	2130 (12)
.....宮城征四郎・他	2130 (12)
気管支喘息治療の最近の動向	2136 (12)
.....中島幹夫・他	2136 (12)
去痰薬の使い分け	2142 (12)
.....中村清一	2142 (12)
エリスロマイシン療法	2145 (12)
.....杉山幸比古	2145 (12)
ステロイド薬の使い方	2148 (12)
.....吉澤靖之・他	2148 (12)
抗生物質の適応と選択	2150 (12)
.....普天間光彦・他	2150 (12)
吸入抗コリン薬の作用と適応	2152 (12)
.....武内浩一郎	2152 (12)
吸入療法の実際	2157 (12)
.....倉島篤行	2157 (12)
日常生活の注意点	2160 (12)
.....山口哲生	2160 (12)
栄養管理の意義と実際	2163 (12)
.....米田尚弘・他	2163 (12)
疾患による在宅酸素療法(HOT)の効果	2167 (12)
.....神野 悟	2167 (12)
呼吸訓練と呼吸筋訓練	2170 (12)
.....宮川哲夫	2170 (12)
運動療法の処方と実際	2173 (12)
.....栗原直嗣	2173 (12)
新しい試みー胸空鏡下レーザー照射によるプラ焼灼と横隔膜形成	2176 (12)
.....河野 匡・他	2176 (12)
循環器疾患の画像診断	
〈何を診断できるかー適応と限界〉	
心エコー法	2240 (13)
.....大木 崇・他	2240 (13)
ドプラ心エコー法	2244 (13)
.....竹中 克	2244 (13)

コントラスト心エコー法……………鄭 忠和…2248(13)
負荷心エコー法……………黒田敏男・他…2252(13)
安静時²⁰¹Tl心筋像による生存心

筋量の評価……………田中 健・他…2257(13)
心プールシンチグラフィ……………小西得司…2262(13)
負荷心筋シンチグラフィ……………西村重敬…2264(13)
ポジトロン断層法……………玉木長良・他…2268(13)
X線CT……………松山正也…2272(13)
超高速CT……………寒河井博・他…2276(13)
MRI……………渡辺 滋…2280(13)
経食道心エコー法……………友近康明・他…2284(13)
血管内超音波法……………出川敏行・他…2288(13)
冠動脈造影法……………田村 勤…2295(13)
心室造影法……………沖中 務・他…2300(13)
IVDSA……………天羽 健・他…2304(13)
血管内視鏡……………野村雅則・他…2306(13)

〈どう診断するか—選択と読み方〉

リウマチ性僧帽弁膜症……………増田喜一・他…2312(13)
僧帽弁逸脱……………鈴木真事・他…2318(13)
大動脈弁膜症……………三神大世・他…2322(13)
人工弁機能不全……………吉田 清…2326(13)
感染性心内膜炎……………中村憲司・他…2332(13)
狭心症……………山科 章…2337(13)
心筋梗塞……………原 和弘…2341(13)
肥大型心筋症……………福島研吾・他…2346(13)
拡張型心筋症……………横田慶之・他…2350(13)
解離性大動脈瘤……………許 俊鋭・他…2356(13)

〈座談会〉

虚血性心疾患の画像診断をめぐっ

て……………西村重敬・出川敏行
中村憲司・山口 徹…2363(13)

〔電子内視鏡による大腸疾患の診断〕

11. 単純性潰瘍, Behçet 病……………河南智晴・他…139(1)
12. 表面型病変(1)—平坦・陥凹型
大腸腺腫・m 癌……………田淵正文…353(2)
13. 表面型病変(2)—平坦・陥凹型
大腸 sm 癌……………鶴田 修・他…540(3)
14. 悪性黒色腫……………後小路世士夫・他…727(4)
15. 表面型腫瘍の色素拡大電子スコ
ープ所見……………工藤進英・他…944(5)
16. villous tumor……………剛崎寛徳・他…1137(6)
17. 大腸の粘膜下腫瘍……………多田正大・他…1332(7)
18. ポリポーシス……………杉山茂樹…1552(8)
19. 大腸ポリープのいろいろ

……………加藤裕昭・他…1749(9)

20. 消化管悪性リンパ腫……………多田正大・他…1988(11)

21. 画像処理 1. 腫瘍……………勝 健一…2201(12)

22. 画像処理 2. 炎症……………辻 晋吾・他…2380(13)

〔図解病態のしくみ・肝臓病〕

7. 慢性肝炎……………清水幸裕・他…154(1)
8. 自己免疫性肝炎……………杉山和子・他…364(2)
9. 薬剤性肝障害……………宮林千春・他…740(4)
10. アルコール性肝障害……………康山俊学・他…950(5)
11. 脂肪肝……………若林泰文・他…1148(6)
12. 肝硬変……………高原照美・他…1388(7)
13. 原発性胆汁性肝硬変・原発性硬
化性胆管炎……………斎藤清二・他…1756(9)
14. 特発性門脈圧亢進症……………中山義秀・他…2206(12)
15. 肝 癌……………南部修二・他…2386(13)

〔内科医のための胸部 X-P 読影のポイント〕

15. 肺結核(1)……………松井祐佐公…166(1)
16. 肺結核症(2)—びまん性陰影を
呈する肺結核症と非定型抗酸菌
症……………田中 茂・他…378(2)
17. COPD(慢性閉塞性肺疾患)
……………池田顕彦・他…550(3)
18. 過敏性肺臓炎……………松井祐佐公・他…968(5)
19. 急性間質性肺炎……………三尾直士・他…1162(6)
20. 特発性肺線維症……………佐竹範夫・他…1324(7)
21. 肺水腫……………楠目 馨・他…1570(8)
22. 気 胸……………田中 茂・他…1802(9)
23. 結核性胸膜炎……………奥田 薫・他…1982(11)
24. 癌性胸膜炎……………松井祐佐公…2214(12)

〔心エコー図演習〕

- 64 歳女性が労作時の呼吸困難を主
訴に来院した……………小山 潤・他…149(1)
- 13 歳男児が近医で心雑音を指摘さ
れて来院……………里見元義…359(2)
- 55 歳, 女性が呼吸困難のため救急入
院した……………羽田勝征…545(3)
- 13 歳の男子中学生が心検査で異常
を指摘され, 精査を希望して受診
した……………深谷 隆…733(4)
- 心不全症状が次第に増悪した 57 歳
の男性……………横田慶之…961(5)
- 2 カ月の男児, 心雑音を主訴に来院

……………里見元義…1143(6)
 咳嗽と呼吸困難にて来院した 27 歳
 の主婦……………羽田勝征…1347(7)
 12 歳の男児が心雑音の精査を希望
 して来院した……………深谷 隆…1559(8)
 両心不全症状が進行した 50 歳の女
 性……………横田慶之・他…1765(9)

〔対談・内科診療のあゆみ〕

(第 1 回)循環器領域—虚血性心疾患
 を中心に……………山口 徹・尾形悦郎…127(1)
 (第 2 回)内分泌疾患の臨床
 ……………阿部好文・尾形悦郎…340(2)
 (第 3 回)呼吸器疾患の変遷と診療の
 進歩……………川上義和・尾形悦郎…556(3)
 (第 4 回)糖尿病—成因, 治療ならび
 に最近のトピックス 春日雅人・尾形悦郎…766(4)
 (第 5 回)神経疾患診療の基本と最近
 の進歩……………黒岩義之・尾形悦郎…978(5)
 (第 6 回)肝疾患診療の進歩
 ……………小俣政男・尾形悦郎…1169(6)
 (第 7 回)腎疾患診療の進歩
 ……………荒川正昭・尾形悦郎…1368(7)
 (第 8 回)膠原病診療の進歩
 ……………狩野庄吾・尾形悦郎…1577(8)
 (第 9 回)血液疾患診療の進歩
 ……………池田康夫・尾形悦郎…1788(9)
 (第 10 回)感染症の変貌と臨床から
 の対応……………斎藤 厚・尾形悦郎…1997(11)
 (第 11 回)内科診療と消化管疾患
 ……………上野文昭・尾形悦郎…2221(12)
 (第 12 回)臨床医学の進歩と変遷—
 サイエンスからアートへ
 ……………日野原重明・北原光夫・福井次矢
 赤塚祝子・尾形悦郎…2419(13)

〔medicina Conference〕

(第 1 回)腹部膨満を主訴とし, 38°C
 台の発熱が続いていた 70 歳の女
 性……………櫻林 眞・北爪知恵子
 北原光夫・西崎 統…752(4)
 (第 2 回)顎関節痛と発熱を主訴と
 し, 一過性の視力障害を呈した 67
 歳の女性……………石井周一・池田正行
 北原光夫・小澤安則…1354(7)

(第 3 回)発熱, 肝腎障害, 呼吸困難
 など多彩な臨床症状を主訴に転院
 してきた 71 歳の男性
 ……………遠藤昌彦・杉 謙一・布井清秀
 福田賢治・最所正純・阿部隆三…1774(9)
 (第 4 回)全身倦怠感, 呼吸困難, 浮
 腫で入退院を繰り返し, 腎不全に
 陥った 44 歳の男性
 ……………帆足誠司・藤田善幸・辻野志穂
 井上 泰・森 正也・北原光夫…2182(12)

〔medicina Conference 解答募集〕

第 1 回 …125(1)/第 2 回 …763(4)/第 3 回
 …1134(6)/第 4 回…1566(8)/第 5 回…1994(11)/
 第 6 回…2376(13)

〔Scope〕

40 万画素電子内視鏡の使用経験
 ……………長廻 紘・他…1547(8)
 多断面経食道心エコー図……………高元俊彦…2401(13)
 遺伝子治療はどこまで進んだか
 —アメリカでの現状と癌治療への
 応用……………河上 裕…2407(13)

〔目でみるトレーニング〕

問題 1 ……………桜井幸弘・他…372(2)
 問題 2 ……………中島明雄…373(2)
 問題 3 ……………小林 明・他…374(2)
 問題 4 ……………北川泰久・他…375(2)
 問題 1 ……………桜井幸弘…1157(6)
 問題 2 ……………北川泰久…1158(6)
 問題 3 ……………北川泰久…1159(6)

〔Oncology Round〕

25. 画像診断で腫瘍の局在診断に苦
 慮した十二指腸乳頭部癌の 1 例
 ……………高木省治郎・他…145(1)

〔心療内科コンサルテーション〕

心身症, 神経症, ヒステリー, 詐病
 はどう違うか……………安藤勝己・他…176(1)

〔総合診療 minimum requirement〕

気管支喘息の治療……………伊藤澄信…388(2)